

企業団 ニュースレター



第 19 号

(令和元年9月発行)

小石原川ダム建設の今～ダム堤体盛立天端到達

令和元年7月にダムの堤体盛立が天端に到達しました。

今後の主なダム本体関連工事は、ダム堤体の洪水吐き工（コンクリート打設）及び取水放流設備などです。令和2年度からの供用開始に向けて工事が進められております。



ダムの盛立天端到達



ダムの完成予想図

見学案内 ダム建設現場が見学できます！（事前予約が必要です。）

詳しくは「水資源機構 朝倉総合事業所」のホームページへ
<http://www.water.go.jp/chikugo/koishi/index.html>

小石原川ダム

検索

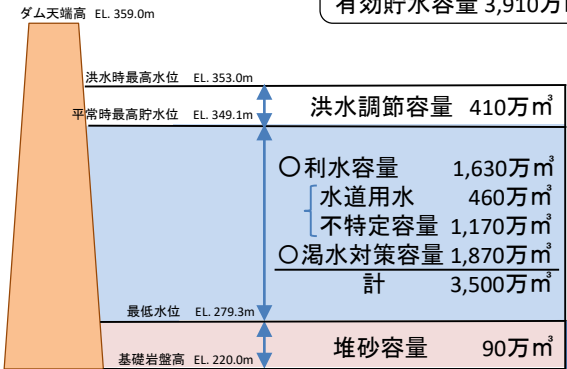


＜小石原川ダムの概要＞

ダムの目的

- ①洪水調節
(洪水による被害を軽減する)
- ②水道用水の供給
(福岡県南地域に水道用水を供給する)
- ③流水の正常な機能の維持
(小石原川、佐田川及び筑後川を流れる水が少ない時にダムから水を流し、流水の正常な機能を維持する。また、筑後川水系の異常渇水時に緊急水の補給を行う。)

ダムの容量図



ダムの諸元

工期	平成4年度～令和元年度
事業費	1,960億円
型式	ロックフィルダム
堤高	139m
堤頂長	約550m
堤体積	約830万㎡
流域面積	20.5km ²
湛水面積	1.2km ²

事業の経緯

- 平成 4年 実施計画調査開始
- 平成 7年 1月 現地調査開始
- 平成18年 3月 事業実施計画の認可
- 平成22年 9月 国土交通大臣がダム検証を指示
- 平成24年12月 国土交通省が事業継続を決定
- 平成25年11月 仮排水路トンネル工事着手
- 平成28年 4月 ダム本体工事着手
- 平成29年 8月 ダム堤体盛立開始
- 平成30年 5月 ダム定礎式
- 令和 元年 7月 ダム堤体盛立天端到達

＜環境啓発活動に参加しました＞

「水の日」及び「水の週間」節水街頭キャンペーン

8月1日～7日は「水の週間」です。

「水の週間」初日となる8月1日「水の日」に、地域の方々への「水の週間」の周知及び節水意識の高揚を目的とした、節水街頭キャンペーンを行いました。

当日は、西鉄久留米駅において、福岡県、水資源機構筑後川局、久留米市企業局と合同で、地域の方々に節水への協力を呼びかけました。



節水街頭キャンペーンでの啓発活動

有明海クリーンアップ作戦

8月22日、午前7時より「有明海クリーンアップ作戦」が開催されました。

この活動では、有明海沿岸の環境保全のため福岡、佐賀、長崎、熊本の4県共同で、河口域の清掃作業が行われています。毎年、有明海沿岸の国の機関、県・市・町、漁業関係者やボランティアなど多くの方々に参加されています。

当企業団からは職員5名が参加し、福岡県柳川市久間田漁港周辺において、散乱しているペットボトルや空き缶、空き瓶などのゴミを回収しました。



有明海クリーンアップ作戦での清掃作業

<平成30年度の水質検査結果について>

企業団では、すべての構成団体の配水場（14か所）で毎月水質検査をすることにより、水道水の安全性を確認しています。平成30年度の検査結果について、代表的な項目を掲載していますが、すべての項目において水質基準※を満足していました。詳しくはホームページをご覧ください。

<https://www.sfwater.or.jp/jyouhoukoukai/anzen/keikaku-kekka.html>

福岡県南 検査結果

検索

区分	水 質 基 準 項 目		水 質 基 準	配水場 最高値	水質基準値に対する 配水場最高値の割合（％）					
					0	20	40	60	80	100
病原生物	基準1	一般細菌	100/ml以下	0/ml						
	基準2	大腸菌	検出されないこと	不検出						
重金属	基準6	鉛及びその化合物	0.01mg/L以下	0.001mg/L以下						
	基準7	ヒ素及びその化合物	0.01mg/L以下	0.002mg/L						
消毒副生成物	基準27	総トリハロメタン	0.1mg/L以下	0.035mg/L						
着色	基準33	アルミニウム及びその化合物	0.2mg/L以下	0.05mg/L						
	基準34	鉄及びその化合物	0.3mg/L以下	0.01mg/L						
	基準37	マンガン及びその化合物	0.05mg/L以下	0.001mg/L以下						
味覚	基準39	カルシウム、マグネシウム等（硬度）	300mg/L以下	53mg/L						
におい	基準42	ジェオスミン	0.00001mg/L以下	0.000001mg/L						
	基準43	2-メチルイソボルネオール	0.00001mg/L以下	0.000002mg/L						
基礎的性状	基準47	pH値	5.8-8.6	7.8						
	基準48	味	異常でないこと	異常なし						
	基準49	臭気	異常でないこと	異常なし						
	基準50	色度	5度以下	0.6度						
	基準51	濁度	2度以下	0.1度以下						

※水質基準とは、水道水の安全性を確保するために順守しなければならない要件であり、水道法によって規定されている

<施設の老朽化対策について>

企業団では、荒木浄水場や送水ポンプ場などに設置している電気・機械設備を計画的に更新しています。平成26年度に更新計画（第二期）を策定し、平成27年度から令和6年度までの10年間の更新計画に基づき、施設の老朽化対策を進めています。

平成30年度の実績

平成30年度に更新した主な設備は、次のとおりです。

- ろ過池などの電気機械設備の更新
- 管理本館の給排水設備の改修

今後の予定

令和元年度更新する設備は、次のとおりです。

- 濁色度計
- 導水流量計
- ろ過池電気設備
- ろ過池制水扉 など



ろ過池の電気設備



ろ過池の機械設備



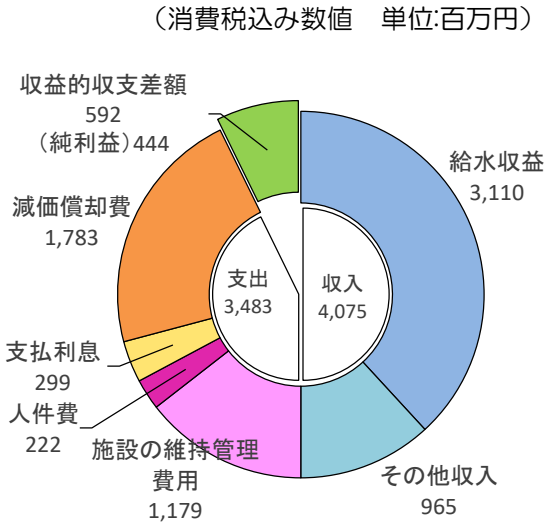
濁色度計



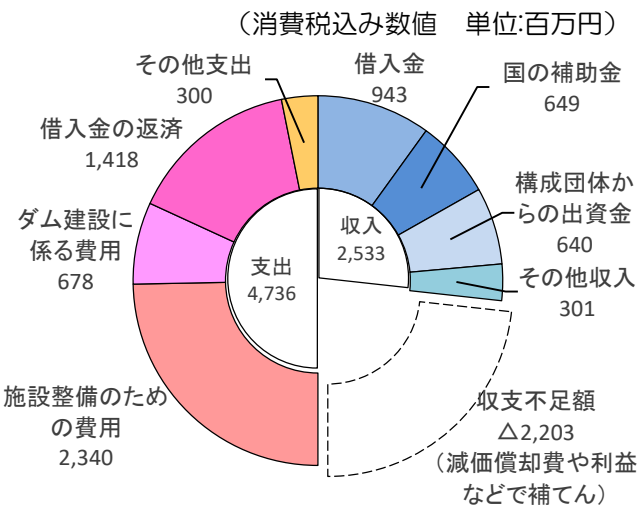
導水流量計

平成30年度決算概要

収益的収入および支出
＜水道水の供給に要する収入・支出＞



資本的収入および支出
＜水道施設の整備や借入金の返済などに要する収入・支出＞



構成団体への供給水量 (8市3町1企業団)

項目	平成30年度
年間総供給水量	36,421,993m ³
一日平均供給水量	99,786m ³
一日最大供給水量	111,248m ³

主な事業

- **第二期拡張事業～施設の拡張整備～**
 - 構成団体へ水を送る送水管の布設工事
- **改良事業～施設の更新や耐震性能確保～**
 - 改良更新事業
 - ・ ろ過池などの電気機械設備の更新
 - ・ 管理本館の給排水設備の改修
 - 耐震化事業
 - ・ 沈殿池の耐震補強工事
 - 水質検査機器の更新
 - ・ ガスクロマトグラフ質量分析計などの更新

＜上下流交流事業を実施しました＞

平成17年度から環境教育の一環として小学4年生を対象に上下流交流事業を行っています。

事業の目的は、筑後川上流域と下流域の子どもたちがお互いの地域のことや筑後川について知識や理解を深めるとともに、交流会をとおして親睦を深めることです。

令和元年度は、平成30年度から引き続き、朝倉市立金川小学校と大川市立道海島小学校の4年生が6月14日と7月9日にお互いの小学校を訪れて交流を深めました。



筑後川遊覧船での学習



黄金川での体験活動

「企業団ニュースレター」に関するご意見、ご要望は下記へご連絡をお願いします。

【お問い合わせ先】

福岡県南広域水道企業団 総務部 企画財政課

TEL : 0942-27-1561 FAX : 0942-27-1795

E-Mail : kikaku@sfwater.or.jp ホームページ : <https://www.sfwater.or.jp>

